

記者発表

(同時提供: 東近江)

提供年月日: 平成 31 年 (2019 年) 2 月 5 日

部局名: 滋賀県教育委員会

所属名: 文化財保護課

担当名: 城郭調査係

担当者名: 松下

電話: 0748-46-6144

E-mail: ma16@pref.shiga.lg.jp

「戦国の近江」地域の魅力発信事業・連続講座「近江の城郭 信長の城と戦国近江」

第5回 信長の城と戦国近江

安土城跡と城下町跡の主な見どころ



安土城跡大手口の複数の虎口



常楽寺港の船入り跡



安土セミナリヨ跡



重要文化財 浄厳院本堂

1. 主旨

永禄11年(1568)、織田信長は足利義昭を伴って上洛しますが、その途中近江を通過します。その後、元亀元年(1570)からはじまる元亀争乱では、浅井氏をはじめとする近江の諸勢力と戦う中で、近江国内に多くの城が築かれました。そして元亀争乱を経て近江を掌握した信長は、天正4年(1576)からいよいよ安土城の築城に着手します。天下人信長の拠点として築かれた安土城は、それまでの城郭にはなかった高層の天主を持ち、山全体に石垣をめぐらせた豪壮華麗な城で、その姿は遠くヨーロッパにまで伝えられています。しかし、築城後わずか10年で廃城となったため、残された記録は少なく、安土城の実像は謎に包まれています。

今回の現地探訪では、特別史跡に指定されている安土城跡と、安土城の麓に建設された安土城下町の跡をたどります。平成元年から20年計画で実施された特別史跡安土城跡調査・整備事業の成果や、街中に残る城下町の痕跡を、文化財専門職員がご紹介します。翌日のシンポジウムでは、特別史跡安土城跡調査整備事業の成果と、信長が築いた小牧山城や岐阜城の最新の調査成果を紹介し、安土城の歴史的意義と、安土城が築かれた戦国時代の近江の歴史的特質を明らかにすることを目指します。

2. 現地探訪 安土 信長の城と城下町

- (1) 日時 平成31年(2019年)3月9日(土) 9時30分~16時30分 ※9時受付開始
- (2) 場所 特別史跡安土城跡・安土城下町跡
○集合場所 JR安土駅北口広場
○解散場所 JR安土駅南口
- (3) 主催 滋賀県教育委員会
- (4) 探訪行程 JR安土駅→下街道→惣構どて推定地→セナリヨ跡→新宮神社→安土城大手前広場→特別史跡安土城跡(大手口→大手道→伝羽柴秀吉邸跡→七曲道→黒金門跡→伝二の丸跡→伝本丸跡→天主跡→惣見寺跡)→百々橋→活津彦根神社→常楽寺港跡→浄厳院→景清道→JR安土駅
全行程約10km 山歩きあり・健脚向き
- (5) 案内講師 滋賀県教育委員会文化財保護課専門職員
- (6) 定員 90名(事前申込制 先着順)
- (7) 参加費 実費(安土山入山料700円)
- (8) 持ち物 健康保険証、弁当、水筒、手袋、タオル、ウォーキングに適した服装・靴・雨具
- (9) その他 集合場所には十分な駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。
集合場所付近には弁当等を購入できる場所がありません。事前にご準備願います。

3. シンポジウム「信長の城と戦国近江」

- (1) 日時 平成31年(2019年)3月10日(日)10時30分~16時30分 ※10時開場
- (2) 会場 安土文芸セナリヨホール(滋賀県近江八幡市安土町桑実寺777)
- (3) 主催 滋賀県教育委員会
- (4) 共催 公益財団法人安土文芸の郷振興事業団
- (5) 内容 基調講演「信長の城」中井均氏(滋賀県立大学教授)
報告1「小牧山城」小野友記子氏(小牧市教育委員会)

報告2「岐阜城」高橋方紀氏（岐阜市教育委員会）

報告3「安土城」仲川靖（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

パネルディスカッション「信長の城と戦国近江」

パネラー：中井氏・小野氏・高橋氏・仲川

コーディネーター：松下浩（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

(6) 定員 380名（事前申込制 先着順）

(7) 参加費 無料

4. 参加申込方法

(1) FAX・電話・メールに参加者全員の住所・氏名（ふりがな）、代表者の連絡先（携帯推奨）、参加を希望する日（現地探訪のみ、シンポジウムのみ、両日）、現地探訪で参加を希望する班をお書きの上、下記までお申し込みください。

(2) 申込締切 平成31年3月7日（木）午後5時

5. 参加申込・問い合わせ

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課城郭調査係

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL077-528-4672 FAX077-528-4956 E-mail ma16@pref.shiga.lg.jp

TEL0748-46-6144 FAX0748-46-6145（城郭調査事務所）

5. その他

(1) 探訪のみ、シンポジウムのみでの参加も可能です。

(2) 当日の気象条件等の変化により、現地探訪のコース・終了時間等を変更する場合があります。

(3) 悪天候等により現地探訪を中止する場合は3月8日（金）午後5時までに参加者に連絡します。なお、現地探訪が中止の場合も、シンポジウムは開催します。

連続講座「近江の城郭～信長の城と戦国近江」実施要項

1. 目的

滋賀県には約 1300 個処の城跡があり、日本史上の画期となった戦いの舞台も多く残っているなど、滋賀県は戦国遺跡の宝庫である。

今年は、永禄 11 年(1568)に織田信長が後の室町幕府 15 代将軍足利義昭を伴って上洛してから 450 年を迎える節目の年であり、この上洛は、戦国から近世へと時代が移り変わる日本史上の転換点であるだけでなく、近江にとっても、中世近江を支配していた守護六角氏に代わって、信長による近江支配が始まるという大きな画期となった出来事でもある。

この連続講座は、近江の戦国遺跡の魅力を広く県内外に発信することを目的に、近江に残る信長ゆかりの戦国遺跡をテーマに行うものである。例年通り、講座と現地探訪をセットで行う。

2. タイトル 連続講座「近江の城郭～信長の城と戦国近江」

3. 日程・テーマ

(1) 第 1 回「元亀争乱 江北の戦い～小谷城跡」

開催日：平成 30 年 11 月 10 日（土）

講座会場：小谷城跡（現地講義）

現地探訪：小谷城跡（長浜市）

講座：「浅井・朝倉との攻防」松下浩（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

現地説明：長浜市文化財専門職員

(2) 第 2 回「琵琶湖城郭ネットワーク～大溝城跡」

開催日：平成 30 年 12 月 9 日（日）

講座会場：高島公民館小ホール

現地探訪：大溝城跡・大溝陣屋跡（高島市）

講座：「琵琶湖城郭ネットワーク」仲川靖（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

現地説明：高島市教育委員会文化財専門職員

(3) 第 3 回「湖南の要・坂本城」

開催日：平成 31 年 1 月 20 日（日）

講座会場：大津市坂本市民センター

現地探訪：坂本城跡・西教寺・聖衆来迎寺（大津市）

講座：「延暦寺焼討から坂本築城」松下浩（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

現地説明：坂本城を考える会

(4) 第 4 回「元亀争乱 江南の戦い～永原城跡」

開催日：平成 31 年 2 月 10 日（日）

講座会場：野洲市コミュニティセンターぎおう大会議室

現地探訪：永原城跡・永原御殿跡（野洲市）

講座：「元亀争乱 江南の戦い」北原治（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

現地説明：野洲市市教育委員会文化財専門職員

(5) 第5回「信長の城と戦国近江」

①現地探訪「安土 信長の城と城下町」

開催日：平成31年3月9日（土）

現地探訪：安土城跡・安土城下町跡（近江八幡市）

現地説明：滋賀県教育委員会事務局文化財保護課城郭調査係員

②シンポジウム「信長の城と戦国近江」

開催日時：平成31年3月10日（日）10：30～16：30

講座会場：安土文芸セミナリヨホール（滋賀県近江八幡市安土町桑実寺777）

内容：基調講演「信長の城」中井均氏（滋賀県立大学教授）

報告1「小牧山城」小野友記子氏（小牧市教育委員会）

報告2「岐阜城」高橋方紀氏（岐阜市教育委員会）

報告3「安土城」仲川靖（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

パネルディスカッション「信長の城と戦国近江」

パネラー：中井氏・小野氏・高橋氏・仲川

コーディネーター：松下浩（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

4. 募集人数 第1回～第4回85人

第5回 3月9日 110人・3月10日 380人

5. 参加費 無料（ただし実費負担あり）

6. 主催 滋賀県教育委員会

7. 協力 長浜市（市民協働部歴史遺産課）・高島市教育委員会（文化財課）・野洲市教育委員会（文化財保護課）・坂本城を考える会

8. 広報計画

(1) 全体日程を最初に資料提供。その後、開催日の約1ヶ月前に各回の実施内容の詳細（集合場所、開催・終了時刻等）を資料提供し、参加者を募集。

(2) 東京シンポジウム（10月4日開催）・東京講座（10月26日・27日）で全体日程を告知。

(3) 「淡海の城」友の会・おうたんメールで情報を配信

(4) 「戦国の近江」魅力発信応援団による情報配信

(5) 戦国・城郭関連HP・ブログを通して情報を配信

(6) 平成27年度・28年度・29年度東京シンポジウムおよび東京講座参加者に案内をメール配信

(7) 第5回シンポジウムの案内チラシを県内および近郊の博物館・図書館等文化施設へ送付